

平成29年(2017年)3月1日発行
(毎月1・15日、地域版は25日)

発行/世田谷区 編集/広報広聴課
〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
区役所 ☎5432-1111(代)
☎5432-3001(広報広聴課)

せたがや

区の手続きや施設・
イベント案内は
せたがやコール



午前8時～午後9時(年中無休)
☎5432-3333
FAX 5432-3100

区のホームページ(パソコン・携帯電話共通) ▶ <http://www.city.setagaya.lg.jp/>
災害情報 ▶ 災害・防犯情報メール配信サービス <http://www.bousai-mail.jp/setagaya/>
▶ 公式ツイッター @setagaya_kiki
▶ FMラジオ83.4 MHz (エフエム世田谷のホームページからも聴取できます)



図書館の知恵袋 「レファレンスサービス」

「ひな祭りにちらし寿司を食べるのはなぜ?」「題名は忘れたけれど、子どもの頃に読んだあの本をもう一度読みたい」など、暮らしや仕事でのハテナ?をご相談下さい。必要な資料や情報をご案内します。



レファレンス
担当職員

様々な図書との出会い

中央図書館では、一般図書約41万冊、保存庫では約1000タイトルの雑誌を保存しています。図書館では、児童図書、CD、大きな活字の本「大活字本」なども含め、様々な資料の充実とともに利用しやすい空間づくりを行っています。



図書館の 可能性は 無限大

図書館は本を借りるだけの場所だと思いませんか。区では、利用する方の立場に立った様々なサービスや多彩なイベントを行っています。自分に合った使い方を見つけて、活用してみてください。

図中央図書館 ☎3429-1811 ☎3429-7436



0歳児から大歓迎 「あかちゃんおはなし会」

生後約6か月以上のお子さんと保護者の方を対象に、わらべ歌や手遊び、絵本の読み聞かせなどを行っています。開催日時等は、お問い合わせ下さい。



子どもサービス
担当職員
赤ちゃんのための
本選びにお悩みの
際は、気軽に声を
かけて下さいね

多彩なジャンルの イベントを開催

作家の講演会や落語、コンサート、ぬいぐるみおとまり会など、子どもから大人まで楽しめるイベントを行っています。

※例年好評の「ビブリオバトル」を今年も開催します。詳しくは、7面をご覧ください。



～読者の秋の講演会～
落語と読書

区内には、中央図書館をはじめ地域図書館15館、地域図書室5室、図書館カウンター2館があります。所在地等詳しくは、区のホームページをご覧ください。どうか、お問い合わせ下さい。

障害者差別の ないまち “世田谷”を つくります

障害者権利条約シンボルマーク
「イエローリボン」

第6回 「意思疎通への配慮」

区では、障害のある方への「意思疎通への配慮」として、情報を提供したり、相手とコミュニケーションするための、様々な手段を用意しています。区立図書館では、録音図書に加えて、マルチメディア図書(パソコンで再生して、音声とともに文字や画像が表示される図書。読むスピードや文字の大き

さが調整できるので、自分にあった読み方ができます)の貸出を始めました。また、総合支所に手話通訳を必要とする方が来庁したとき、タブレット端末を用いて区役所本庁舎の手話通訳者とやりとりしながら、手続きや相談をすることができます(月～金曜の午前9時～正午)。

図障害施策推進課 ☎5432-2424 ☎5432-3021



世田谷区長
保坂 展人

生まれ育った故郷や、被災自治体を応援するというふるさと納税の趣旨は理解できますが、地方との連携も必要です。しかし、これ以上の財源流出は見越せません。ふるさと納税の本来の趣旨を踏まえた制度の見直しを国に求めています。

また、昨年末より区の福祉・環境・子育て支援などの取組みへのインターネットによる寄附とクレジット決済を始めました。4月からは区内の障害者施設の自主生産品等を記念品として贈呈したいと考えています。

平成27年度に特例控除額の上限の引上げや、ワンストップ特例制度の導入があり、一挙に利用額が増大しました。「返礼品競争」の加熱により、一部の自治体には人気が集中していますが、多くの市町村は「税収減」に悩んでいます。

ふるさと納税と税収減
ふるさと納税による税収減は区財政に大きな影響を与えています。一昨年は約2万人の方の約43億円のふるさと納税により約17億円の影響が出ました。保育園5か所の整備費用に相当する金額です。今年は約30億円の税収減を予想しています。